

令和4年度 社会福祉法人十日町福祉会
喀痰吸引等研修（第一号研修・第二号研修）
募集要項

1 目的

特別養護老人ホーム等の施設及び居宅において、必要なケアをより安全に提供するため、社会福祉士及び介護福祉士法施行規則（昭和62年厚生省令第49号。以下「施行規則」という。）附則第4条に基づく研修（第一号研修・第二号研修）を実施し、適切にたん吸引等を行うことのできる介護職員等を養成します。

2 実施主体

社会福祉法人十日町福祉会とします。

3 対象者

次の要件を全て満たす方とします。

- (1) 介護福祉士実務者研修の医療的ケア（50時間）の「高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説」「高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説」を共に含む科目をスクーリング（対面授業）で受講し修了した方。または、介護福祉士養成施設等で医療的ケア（基本研修講義・演習）の科目を受講し修了した方。
- (2) 新潟県に住所があり、県内の高齢者・障害者の施設・事業所等に勤務している介護職員等であること。
- (3) 所属施設・事業所に、喀痰吸引等が必要な利用者が入所していること。（居宅系サービスの場合は、連携する訪問看護事業所にたん吸引等が必要な利用者がいること。）
- (4) 喀痰吸引等指導者講習を修了した指導看護師が実地研修を実施する施設・事業所に所属していること。
- (5) 原則として受講者が所属する施設・事業所又は利用者宅において、実地研修を行うことができること。

4 研修内容

実地研修

※ 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、基本研修（講義・演習）は実施しません。

5 研修会場及び日程

一定の要件を満たした実地研修機関（原則として受講者の所属施設等）において、委託契約の締結後から令和5年8月31日までに実施して頂きます。

6 受講定員

20名

7 受講料

9,920 円（テキスト代 2,420 円、損害賠償保険料 2,000 円、事務手数料 5,500 円）

※ 当研修の使用テキストと同品を所持している場合、テキスト代は徴収しません。申込時にお知らせください。

使用テキスト：「新版 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」中央法規出版

8 研修の一部免除

「社会福祉士及び介護福祉士法の一部を改正する法律の施行について」（平成 23 年 11 月 11 日社援発 1111 第 1 号）2 の（4）、また、「喀痰吸引等研修（第一号・第二号研修）に係る研修の一部履修免除の取扱方針について」（平成 25 年 8 月 1 日付け高齢第 512 号）に基づき免除します。対象となる研修を修了している方は、受講申込書に研修修了証のコピーを添付してください。

9 募集期間

令和 4 年 10 月 1 日から令和 5 年 4 月 30 日まで随時受付

10 申込書類

- ・受講申込書
- ・推薦状、推薦状別紙
- ・実地研修受け入れ承諾書（所属する事業所以外で実地研修を行う場合のみ提出）
- ・基本研修（講義・演習）の履修を証明する修了証書等の写し
- ・返信用封筒（84 円切手貼付）

11 申し込み方法

上記の書類を施設・事業所ごとにとりまとめ、下記窓口まで郵送もしくはご持参ください。

住 所	〒948-0144 新潟県十日町市水口沢99番地 社会福祉法人十日町福祉会 企画課
受付時間	8時30分から17時30分まで

12 選考方法

定員を超える申し込みがあった場合は、次の選考基準に基づき、受講者を選定します。

- ・喀痰吸引及び経管栄養の利用者の多い施設からの申込者を優先とします。

13 選考結果の通知とその後の手続き

申込者には、受講決定もしくは不決定の通知を郵便により送付します。

受講決定通知には「受講のてびき」を同封します。てびきに従って受講料を銀行振り込みによりご入金ください。振込時の控えを領収書に代えるものとします。

14 個人情報の取り扱い

申込者の個人情報は、この研修の目的以外では使用しません。

【お問合せ】社会福祉法人十日町福祉会

総務部企画課 担当 佐野

〒948-0144 十日町市水口沢 99 番地

☎ 025-761-7340

[別表1] 基本研修（講義）カリキュラム（※令和4年度は実施しません）

大項目	中項目	時間
1 人間と社会	(1) 介護職員と医療的ケア	0.5
	(2) 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1
2 保健医療制度とチーム医療	(1) 保健医療に関する制度	1
	(2) 医療的行為に関係する法律	0.5
	(3) チーム医療と介護職員との連携	0.5
3 安全な療養生活	(1) 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2
	(2) 救急蘇生法	2
4 清潔保持と感染予防	(1) 感染予防	0.5
	(2) 職員の感染予防	0.5
	(3) 療養環境の清潔、消毒法	0.5
	(4) 滅菌と消毒	1
5 健康状態の把握	(1) 身体・精神の健康	1
	(2) 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5
	(3) 急変状態について	0.5
6 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引概論	(1) 呼吸のしくみとはたらき	1.5
	(2) いつもと違う呼吸状態	1
	(3) 喀痰吸引とは	1
	(4) 人工呼吸器と吸引	2
	(5) こどもの吸引について	1
	(6) 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
	(7) 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1
	(8) 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1
	(9) 急変・事故発生時の対応と事前対策	2
7 高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	(1) 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
	(2) 吸引の技術と留意点	5
	(3) 喀痰吸引にともなうケア	1
	(4) 報告および記録	1
8 高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	(1) 消化器系のしくみとはたらき	1.5
	(2) 消化・吸収とよくある消化器の症状	1
	(3) 経管栄養とは	1
	(4) 注入する内容に関する知識	1
	(5) 経管栄養実施上の留意点	1
	(6) こどもの経管栄養について	1
	(7) 経管栄養に関係する感染と予防	1
	(8) 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
	(9) 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1
	(10) 急変・事故発生時の対応と事前対策	1
9 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説	(1) 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
	(2) 経管栄養の技術と留意点	5
	(3) 経管栄養に必要なケア	1
	(4) 報告及び記録	1
	合計時間	50.0

[別表2] 基本研修（演習）カリキュラム（※令和4年度は実施しません）

行 為		実施回数
たんの吸引	口腔内吸引	5 回以上
	鼻腔内吸引	5 回以上
	気管カニューレ内部	5 回以上
経管栄養	胃ろう又は腸ろう	5 回以上
	経鼻経管栄養	5 回以上
救急蘇生法		1回以上

[別表3] 実地研修カリキュラム

○ 第一号研修

喀痰吸引及び経管栄養のすべて

行 為	実施回数
口腔内のたんの吸引	10 回以上
鼻腔内のたんの吸引	20 回以上
気管カニューレ内部のたんの吸引	20 回以上
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20 回以上
経鼻経管栄養	20 回以上

○ 第二号研修

各喀痰吸引等行為の個別研修

行 為	実施回数
口腔内のたんの吸引	10 回以上
鼻腔内のたんの吸引	20 回以上
気管カニューレ内部のたんの吸引	20 回以上
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20 回以上
経鼻経管栄養	20 回以上

[別表4] 受講料一覧

内 訳	一部免除	喀痰吸引関連研修	喀痰吸引等研修	特別養護老人ホームにおける14時間研修	介護福祉士実務者研修「医療的ケア」	
		未受講者	基本研修修了者	修了者	通信課程による修了者	実施手順解説の科目をスクーリングで受けた修了者
受講料(備品含)		¥62,080	—	¥59,680	¥14,700	—
テキスト代		¥2,420	¥2,420	¥2,420	¥2,420	¥2,420
事務処理料		¥5,500	¥5,500	¥5,500	¥5,500	¥5,500
損害賠償保険料		¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000	¥2,000
合 計		¥72,000	¥9,920	¥69,600	¥24,620	¥9,920

- ※ 科目の免除については、「8 研修の一部免除」を参照ください。
- ※ 当研修の使用テキストと同品を所持している場合、テキスト代は徴収しません。申込時にお知らせください。
- ※ 受講料は受講決定後の所定の期日までに銀行振り込みにより徴収します。(振込手数料は受講者負担とします。)
- ※ 振込時の控えを領収書に代えるものとします。
- ※ 感染症予防対策の備品費用を含みます。

[別表5] 免除科目一覧

		科目・行為	時間回数	喀痰吸引等研修		14H研修	実務者研修	
				未受講者	基本研修修了者	修了者	通信	通学
基本 研修 (講義)	1	人間と社会	1.5H	○	免除	○	免除	免除
	2	保健医療制度とチーム医療	2H	○	免除	○	免除	免除
	3	安全な療養生活	4H	○	免除	○	免除	免除
	4	清潔保持と感染予防	2.5H	○	免除	○	免除	免除
	5	健康状態の把握	3H	○	免除	○	免除	免除
	6	高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論	11H	○	免除	○	免除	免除
	7	高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説	8H	○	免除	○	○	免除
	8	高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論	10H	○	免除	○	免除	免除
	9	高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説	8H	○	免除	○	○	免除
基本 研修 (演習)	たんの 吸引	口腔内吸引	5回以上	○	免除	免除	免除	免除
		鼻腔内吸引	5回以上	○	免除	○	免除	免除
		気管カニューレ内部	5回以上	○	免除	○	免除	免除
	経管 栄養	胃ろう又は腸ろう	5回以上	○	免除	○	免除	免除
		経鼻経管栄養	5回以上	○	免除	○	免除	免除
	救急蘇生法	1回以上	○	免除	○	免除	免除	
※ 実地 研修		口腔内のたんの吸引	10回以上	○	○	免除	○	○
		鼻腔内のたんの吸引	20回以上	○	○	○	○	○
		気管カニューレ内部のたんの吸引	20回以上	○	○	○	○	○
		胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20回以上	○	○	○	○	○
		経鼻経管栄養	20回以上	○	○	○	○	○

- の科目が受講科目です。
- ※ 第一号研修の実地研修は、全喀痰吸引等行為の研修となります。
- 第二号研修の実地研修は、各喀痰吸引等行為の個別研修となります。